

9・10月のおたより



「ねえ、お父さん、さっきテレビで『今日は終戦記念日です』と言ってたけれど、何のこと？」小学6年生の高広君は首をかしげました。

「78年も前のことだけど、それまで日本はずっと戦争していたんだ。その長く続いた戦争が終わった日なんだよ」

「そうだったの」高広君はびっくりしました。

「その戦争でたくさんの人たちが死んだ。お父さんのおじいちゃん、つまり高広のひいおじいちゃんもわずか34歳の時にフィリピンで死んだ。戦争は絶対にしてはいけない」

お父さんは空を見上げて言いました。

「地球から戦争をなくすにはどうしたらいいか、僕も考えてみよう。そして世界の人たちが手をつないで仲良く暮らせるようお導きくださいと、神様にお祈りしよう」

高広君は大きくうなずいて言いました。

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書 5章9節